

平成 17 年度第 11 回（2 月）理事会議事録

◇日 時：平成 18 年 2 月 9 日（木）午後 6 時 36 分～7 時 50 分

◇会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

◇出席者：森嶋、今井、辻、運天、吉本、高田、清水、竹浦、荒木、田畑、高橋、出野、井戸田、山田、北中、東野、田中

◇欠席者：大垣、岡本、山内

◇議 長：森嶋

討議内容

I. 行動報告（1 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技（代議員会報告 1 月 28 日）

小崎会長の来年度の方針

①法改正について

・省令から政令へのパブリックコメント等があり最後の詰めを行っている。

②生涯教育について

・生涯教育履修に力をいれていく。他団体から認められるためにも履修率アップを図る。

③精度管理事業について

・医師会の精度管理事業を超えて参加施設数が 3000 を超え、国内で最大手の精度管理事業に成長したので今後も伸ばして行きたい。

④AAMLS 学会について

・去年の上海での学会で立候補をすることとなり、2009 年に関東信と連携して成功させたい。

⑤認定技師について

・日臨技独自の認定として一般検査・総合精度管理の認定に関して来年度立ち上げていく。日臨技独自の認定であることを他第三者に認められるために認定センターを立ち上げる。（1000 万円予算）

⑥人材育成について

・若い技師に対して 60 歳以上のベテラン技師が、経験や技量を次世代に伝えるような活動を行う。

2. 近臨技 開催日（2 月 4 日）

・近畿医療フォーラム(4/8)を SRL と共催で「DPC 導入における、診療報酬改定について」「医療と介護のネットワーク化」について開催する。

・小崎会長より網紀肅正についてのお願について、京都第二日赤の事例について説明があった。

・近臨技 OB 会に 60 歳を過ぎても活躍できるボランティア等の場を設けて、活動を応援していただく。

3. 事務局

総務部 部会開催（1 月 10 日）

庶務

・1 月理事会の開催準備を行った。

・社団法人設立 20 周年記念式典の開催準備を行った。

広報

・大臨技ニュース 2 月号の発行を行った。

・ホームページの更新を行った。

会計

- ・ 12 月度収支計算書を作成した。
- ・ 18 年度予算書作成(案)を作成した。

渉外部 部会開催 (1 月 17 日)

- ・ 大臨技大放技合同フォーラム(1/21)運営の最終確認を行った。
- ・ 献血推進活動日(2/18)の当日参加者と運営の確認を行った。
- ・ 18 年度事業の事業案と予算案を検討した。

4. 事業局

情報組織部 部会開催 (1 月 19 日)

- ・ 社団法人設立 20 周年記念事業の役割確認を行った。
- ・ 施設連絡者会議(3/25)の事業説明を行った。
- ・ 18 年度第 1 回定期総会の議長候補に井口健氏を内定した。
- ・ 部員からの情報組織事業提案を検討した。(収支管理研修会)

地区事業部 部会開催 (1 月 19 日)

- ・ 社団法人設立 20 周年記念事業の役割と運営確認した。
- ・ 施設連絡者会議(3/25)の事業説明を行った。
- ・ 地区事業部の定例会議を 3 月から第 3 金曜に変更した。(3~5 月各地区合同開催)

学術部

- ・ 特記事項無し

チーム医療推進委員会 部会開催(2 月 6 日)

- ・ 次年度より学術部へ移行等の運営確認を行った。

III. 他、報告

1. 社団法人設立 20 周年記念式典・祝賀会事業について

約 250 名の出席があった。来賓中心に礼状発送の準備を終え、1 週間以内には届けられる。ホテルへの支払いで 4,537,812 円の支払いがあった。会費等で 184 万円の収入があった。会長より実行委員へ労いのことばがあった。

2. 看護協会「看護の日」協力事業について

2 月 8 日に府庁にて会議あり、実行委員会メンバーの団体紹介および平成 13 年度~17 年度の開催状況、本年度の開催日程(5 月 11 日・12 日)の説明があった。大臨技として、血糖検査・尿検査を担当する。(予算として、負担金 5 万)

3. 選挙管理委員会・役員推薦委員会について

立候補者が定数内であった為、役員選挙規定第 5 章第 27 条に基づき信任投票を省略して平成 17 年度第 2 回総会に提案する旨の報告があった。大臨技 3 月号に掲載する。

4. その他

- ・ 大臨技大放技合同フォーラムが 1 月 21 日に開催され大臨技より 84 名・大放技より 44 名の出席があった。2 月 2 日に反省会を行いアンケートの結果報告があった。会費について統一する。(会員 500 円、非会員 3000 円ただし一般他職種については 500 円) 次年度は 1 月 20 日(土)開催、会場をアクセスの良い場所を検討する。
- ・ 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース準備研修報告があった。研修帰国後に実施可能な技術を習得することを目的とした研修プラン作成の為に聞き取り調査を行い、手ごたえがあった。5 月頃に研修受け入れ対象国に調査団を派遣して研修プラン内容の検討を行い正式な研修プランの作成後、内容を各研修施設へ配布した上で公文書を送り、受け入れた承後、8 月下旬より研修を開始する。
- ・ 南大阪睡眠呼吸障害研究会が平成 18 年 3 月 11 日に堺市民会館 4F 大集会室にて開催される。参加費：1000 円(入会金込み)、大臨技後援で研修点を B-10 とする。当日受付を学術部で行う。
- ・ 第 55 回日本医学検査学会一般演題座長選考結果について報告があった。
- ・ 大臨技ニュース掲載「平成 18 年度事業計画案」について各人確認を行い、2 月 13 日までに山田理事へ連絡を行う。

IV. 議題

1. 事務員嘱託規定について

非常勤職員就業規則案・雇用契約書兼労働条件通知書案（非常勤・嘱託）・雇用通知書案について説明があり、内容について各人検討を行い、次回理事会で決定する。24日までに意見等があれば辻副会長までメールを送る。

2. 定期総会運営について

平成17年度第2回定期総会（平成18年度予算総会）のタイムスケジュール案について説明があり、第一議長を渉外部より選出、第二議長を喜舎場氏、資格審査委員兼議事運営委員を竹浦理事・田畑理事、資格審査報告を竹浦理事、日臨技総会代理人を森嶋会長・今井副会長・運天理事、議事録署名人選任を総務部より選出、新役員挨拶を閉会辞の前に行う。施設連絡者会議の後に開催する。会場の収容定員は80名。今回から前面に掲示する式次第の作成を印刷所に依頼する。

3. 18年度予算案について

平成18年度収支予算案について報告があり了承された。

4. 会旗の作成について

会旗の作成の必要性および費用等の説明があり、デザイン等も含め継続審議とする。

5. その他

特記事項なし

以上